

婦人科腫瘍コース

主たる研修病院 (所属病院)	都立駒込病院	
連携して研修する病院・施設 (予定)	特になし	
研修時に必要とする知識・技量 (応募資格)	日本産婦人科専門医を取得し婦人科腫瘍を専門とする臨床医になることを希望していること。 筆頭著者の論文が1編以上あること。学会発表2回以上あること。 チーム医療の一員として十分なコミュニケーション能力を有し、服務規程を遵守できること。	
コース 責任者	氏名(所属)	婦人科 喜納 奈緒
	資格名	日本産科婦人科学会 指導医・専門医 日本婦人科腫瘍学会 代議員・指導医・専門医 日本臨床細胞学会 細胞診専門医 がん治療認定医 日本女性医学会 女性ヘルスケア専門医 日本ロボット外科学会 国内B級ライセンス da Vinci surgical system Xi 術者認定
	専門分野	婦人科腫瘍学
臨床指導体制	<ul style="list-style-type: none"> ・婦人科を中心に、婦人科腫瘍学会指導医、内視鏡技術認定医、遺伝性腫瘍学会専門医、女性医学会女性ヘルスケア専門医のもと研修を行う。 ・指導医含め3-4名程度のグループ制となっており、病棟の症例を担当医として受け持ち手術治療、薬物治療を行う。3か月後から救急外来の対応、臨時外来を担当する。1年目は当院婦人科で研修を行い、2年目は希望により3か月程度の院内研修(緩和治療科、病理科、大腸外科、放射線治療科等1-2科)または短期の院外研修(国立がん研究センター中央病院先端医療科等)が研修進捗度によって可能、3年目当院婦人科で研修する。 ・毎週施行される入院症例ケースカンファレンス・術前カンファレンス・隔週で行われるがんセンターボード・抄読会・病理カンファレンスを通じ婦人科腫瘍全般の専門的知識を習得する ・臨床研究の立案と論文作成の指導を受ける 	
臨床研究	これまで 行ってきた 研究と実績	<p>JCOG1101: 腫瘍径2 cm以下の子宮頸癌IB1期に対する準広汎子宮全摘術の非ランダム化検証的試験</p> <p>JCOG1412: リンパ節転移リスクを有する子宮体癌に対する傍大動脈リンパ節郭清の治療的意義に関するランダム化第III相試験</p> <p>JCOG1402: 子宮頸癌術後再発高リスクに対する強度変調放射線治療(IMRT)を用いた術後同時化学放射線療法の実験的試験</p> <p>JGOG1082: 子宮頸癌 I B期- II B期根治手術例における術後放射線治療と術後化学療法との第III相ランダム比較試験</p> <p>子宮内膜間質肉腫の組織型別予後と治療法に関する調査研究</p> <p>JGOG調査研究カルボプラチン脱感作療法の実態調査(調査研究) A survey of carboplatin desensitization therapy in Japan: A multicenter retrospective study(cancer medicine)</p> <p>子宮体癌におけるセンチネルリンパ節生検に関する研究(院内研究)</p> <p>Heterogeneous treatment effects of adjuvant therapy for patients with cervical cancer in the intermediate-risk group (cancer medicine)</p>
	今後行う 研究と 研究体制	<p>子宮体癌におけるセンチネルリンパ節生検に関する研究(院内研究)</p> <p>JGOG1082: 子宮頸癌 I B期- II B期根治手術例における術後放射線治療と術後化学療法との第III相ランダム比較試験</p> <p>JCOG(日本臨床腫瘍研究グループ)、JGOG(婦人科悪性腫瘍研究機構)に参加しているので、臨床試験、調査研究が多数あり</p>
研修項目	<p>婦人科腫瘍(主として子宮頸がん、子宮体がん、卵巣卵管腹膜がん)に対する婦人科手術療法を中心に研修する。</p> <p>手術療法: 開腹手術を基礎に腹腔鏡下手術、経腔的腹腔鏡手術(vNOTES)、ロボット支援下手術、腔式手術</p> <p>薬物療法: 殺細胞性抗がん剤、分子標的治療、免疫チェックポイント阻害剤治療、ホルモン療法を用いた標準治療とその有害事象の対応、支持療法、がん治療における救急処置</p> <p>放射線治療、緩和治療を含めた集学的治療</p> <p>前がん病変に対する診断、管理、治療</p> <p>遺伝性腫瘍に対するサーベランス、予防的手術</p> <p>がんサバイバーに対するヘルスケア</p> <p>婦人科病理、画像診断 臨床試験</p>	
研修内容・達成目標	<p>日本産婦人科学会専門医取得後のサブスペシャリティ領域である婦人科腫瘍分野を研修し婦人科腫瘍専門医を養成する。手術研修では浸潤癌手術100例以上、執刀医として腹式広汎子宮全摘術10-15例、傍大動脈リンパ節郭清術10例、腹腔鏡下子宮全摘10例、卵巣がん手術20例、子宮体癌手術20例、薬物治療50例、免疫チェックポイント阻害剤治療10例、根治的放射線治療10例。学会、研究会発表5件。論文投稿目標数3件。多くは3年終了時に専門医取得に必要な症例数を達成し、高度な治療技術が習得できる。他、希望があれば、産科婦人科内視鏡技術認定医、日本遺伝性腫瘍学会専門医や臨床細胞診学会専門医の研修も可能。さらに子宮頸部摘出術、Da Vinci SPを用いたロボット支援下手術等の高難度医療も予定している。</p>	
コース内容に関する 問合せ先	駒込病院 婦人科 喜納 奈緒	